

令和3年度 事務事業評価シート（1）

[令和2年度事務事業]

一般会計				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	外国青年（国際交流員）招致事業			事業番号	008-021
担当部署名	文化観光	局	国際	部	国際 課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	1.堺の特色ある歴史文化 ～Legacy～	施策	(4) 文化芸術の振興・国際交流の強化	
		有	取組の方向性	③姉妹・友好都市やアセアン諸国などの国際交流の強化				
		寄与するKPI	有・無	指標名	—			
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	ゴール(ハ)パートナーシップで目標を達成しよう	ターゲット	17.14 ,17.16	
		有	取組	パートナーシップ強化に向けた姉妹友好都市、アセアン地域などの連携促進				
		寄与するKPI	有・無	指標名	—			
無	現状値	—		目標値	—			
2	関連計画	堺市国際化方針						
3	事業開始年度	平成 3 年度		点検年度	令和 7 年度			
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)							

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	本庁					
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	在住外国人を含む市民（約1万4千人）、本市職員（約5千人）、外国人賓客等					
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	地域レベルでの国際交流の推進、翻訳・通訳を通じた地域の外国人市民の生活環境整備、海外姉妹・友好都市との交流の促進、及び市内の人材育成を推進することを目的とする。					
8	事業内容 (目的を達成するための手段)	<p>総務省・外務省・文部科学省の三省連携により実施されるJETプログラムに基づき、一般財団法人自治体国際化協会（CLAIR）を通して、国際交流員（CIR）を招致し、次の業務に従事している。</p> <p>（英語圏CIR 1名、中国圏CIR 1名を招致している。※中国圏CIRは、新型コロナウイルス感染症拡大のため、R2途中から未赴任）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国際交流関係事務（通訳・翻訳・監修、外国人賓客の接客等） ・外国人市民への情報発信における翻訳・監修 ・本市職員に対する語学指導への協力 ・地域民間国際交流団体の事業活動に対する助言 ・地域住民の異文化理解のための交流活動及び在住外国人生活支援 					
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載						
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)	一般財団法人自治体国際化協会					
10	公民連携・協働事業						

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		実績		目標	目標	点検年度
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和7年度	
11 行政資料等の翻訳、翻訳監修依頼件数	件	目標値	100	100	100		
		実績値	121	86			
		達成率	121%	86%			
当該指標を選定した理由	行政資料の多言語化は不可欠であり、翻訳、翻訳監修依頼件数は本市の国際化への対応状況を図る指標として適当であるため。						
目標値の設定根拠・算出方法	市内・外からの翻訳及び翻訳監修の依頼件数を計上。過去の実績から目標値を設定。						
12 活動指標(成果を上げるための手段) 講座開催、通訳協力等派遣の依頼件数	件	目標値	10	10	5		
		実績値	17	0			
		達成率	170%	0%			
当該指標を選定した理由	国際交流員が市内内外への派遣を通じて活躍することで、翻訳等の依頼が増えることにつながるため。						
目標値の設定根拠・算出方法	出前講座や市民からの講座開催、市内内外の通訳協力依頼件数を計上。過去の実績から目標値を設定。						

令和3年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	外国青年（国際交流員）招致事業	事業番号	008-021
-------	-----------------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

（単位：千円）

項目	平成30年度	令和元年度	令和2年度		令和3年度	
	決算	決算	予算	決算	予算	
事業費 (a)	11,450	10,772	12,658	6,913	12,520	
13 財源内訳	国支出金					
	府支出金					
	市債					
	その他（職員公舎貸付料）	1,434	1,442	1,442	807	1,512
	受益者負担金(使用料、手数料等)					
一般財源	10,016	9,330	11,216	6,106	11,008	
14 人件費 (b)	3,680	3,660	3,740	2,220	3,740	
15 年間経費(c)=(a)+(b)	15,130	14,432	16,398	9,133	16,260	

事業費の内訳

（単位：千円）

項目	年度	事業費	うち一般財源	項目	年度	事業費	うち一般財源	
								R2 決算
16 事業費内訳	国際交流員報酬	R2 決算	4,071	4,071	費用弁償（その他） 【赴任・帰国旅費等】	R2 決算	227	227
		R3 予算	7,380	7,380		R3 予算	423	423
	建物借上料 【公舎借上】	R2 決算	794	26	自治体国際化協会負担金	R2 決算	92	92
		R3 予算	1,440	0		R3 予算	184	184
	共益費 【公舎借上】	R2 決算	40	1	傷害保険料負担金	R2 決算	49	49
		R3 予算	72	0		R3 予算	50	50
	その他使用料及び賃借料 【公舎借上】	R2 決算	16	16	渡航費用負担金	R2 決算	0	0
		R3 予算	160	160		R3 予算	250	250
	外国青年（国際交流員）招致 事業正会員負担金	R2 決算	1,200	1,200	その他（旅費、印刷製本費等）	R2 決算	424	424
		R3 予算	1,200	1,200		R3 予算	1,361	1,361

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

区分	単位	令和元年度	令和2年度
① 行政資料等の翻訳、翻訳監修依頼件数	件	121	86
② 上記①にかかる年間経費	千円	7,918	4,719
③ 単位当たり経費（②÷①×1,000円）	円/単位	65,438	54,872
備考（算出についての説明等）	本事業に係る一般財源を年間経費として算出		

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18	<p>令和2年度においては、新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、通訳協力や出前講座等はほぼなくなったが、コロナ関連の行政資料等の翻訳や翻訳監修依頼件数が増えたことから、前年度比約3割減に留まった。なお、「Ⅳ. 事業の効率性」の単位当たりの経費が前年度比約2割減となっているのは、渡航制限により、中国圏CIRが来堺できなかったことによる。</p> <p>国際交流員の活動は、国際交流関係業務のみならず市民向け異文化理解にも大きく貢献していることに加え、招致に係る経費は、国から地方交付税による財政措置があるため、市が直接雇用することや民間業者委託で実施するより費用負担が少ない。さらに、JETプログラムによる研修支援体制も整っており、質の高い活動と市民サービスが提供できるものとなっている。総じて費用対効果の高い事業であると評価できる。</p>
----	--

KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）

19	<p>堺市在住の外国人市民は増加傾向にあり、新型コロナウイルス感染症関連情報や地震・台風などの災害情報の発信等、緊急を要する情報発信業務が増加している。また市民ボランティア通訳では対応できない、庁内におけるセンシティブ（虐待対応等）、かつ、緊急の通訳対応を要請されることもある。今後更にグローバル化が進み、行政資料の多言語化は不可欠となってくることから、質の高い翻訳及び高い語学能力、国際的な視点での対応の必要性はより高まってくる。さらに、海外姉妹友好都市等との幅広い分野での交流を促進していくためには、国際交流員の存在を欠かすことはできない。</p> <p>令和2年度においては、新型コロナウイルス感染症拡大のため、翻訳・監修においてネィティブスピーカーの視点で、外国人市民に対する正確かつ迅速な情報発信を幾度となく行った。また、「チエコフェスティバルin関西2020」等の外国公館等との連携事業においても、人的・物的の両側面から本市PRを行い、交流強化の一翼を担った。</p> <p>以上のことから、本事業は、本市の国際化の推進に寄与するものであると評価できる。</p>
----	---